

CENTUM CS 3000 R3の新機能



統合生産制御システム CENTUM CS 3000 R3 は、市場の要求に沿って、新しい技術を積極的に取り入れることで成長してきましたが、「高い信頼性」、「小規模から大規模までシームレスなシステム構築」、「容易なエンジニアリング」、「長期間にわたる安定供給と保守」が重要であることに変わりはありません。新リリースRevision3.05により、従来の特長との互換性を維持しながら、市場要求であるシステムの柔軟性とオープン性を備えた最新の生産制御システムへ更なる進化を遂げました。

[主な特長]

制御バスの革新

生産制御システムの中核をなす制御バス Vnet にオープン性が加わりました。新制御バス Vnet/IP はギガビット Ethernet 技術をベースとし、制御バスに求められる高信頼性と高速応答性を Vnet 同様に確保しながらオープン性をも併せ持った次世代の制御バスです。新制御バス Vnet/IP のオープン性により様々なコンポーネントの接続が容易になり、更には、新コンポーネント Vnet ルータを利用した既存 Vnet システムとの接続、統合により、スケーラブルで柔軟なシステム構築が可能になります。



Vnet ルータ

新コントローラ FFCS-L

FFCS-L はコンパクトでありながら、高信頼、高機能なコントローラ FFCS が更なる拡張性を備えて進化しました。従来、入出力ノードを3台まで拡張可能でしたが、新リリース FFCS-L では、入出力ノードを最大14台まで拡張可能になりました。FFCS-L は新制御バ



CENTUM CS 3000 R3

ス Vnet/IP に接続が可能で、アプリケーション容量の拡張も可能なため、将来のシステム変更に容易に対応できます。



新コントローラ FFCS-L

新パッケージ リモート操作監視機能

遠隔から操作監視が行えるようになりました。Windows2003サーバのターミナルサービス機能を利用し、制御バスに接続されていないHMI (Human Machine Interface) からでもプラントの操作監視が行えます。例えば、オフィスからプラントの運転状況を確認するために、オフィスにあるパソコンから、計器室のHISの運転画面を表示し、操作することができます。従来のリモートデスクトップ機能による遠隔操作監視とは異なり、複数の場所から、複数の人が同時に遠隔操作することができるようになりました。更に、遠隔から安全に、確実に操作できるように、セキュリティ、操作性に工夫がなされています。

問い合わせ先：IA 事業本部システム事業部 P ASPMK 部

TEL : 0422-52-5634

FAX : 0422-52-9802

E-mail : centum@cs.jp.yokogawa.com

* Vnet/IP は、横河電機(株)の登録商標です。